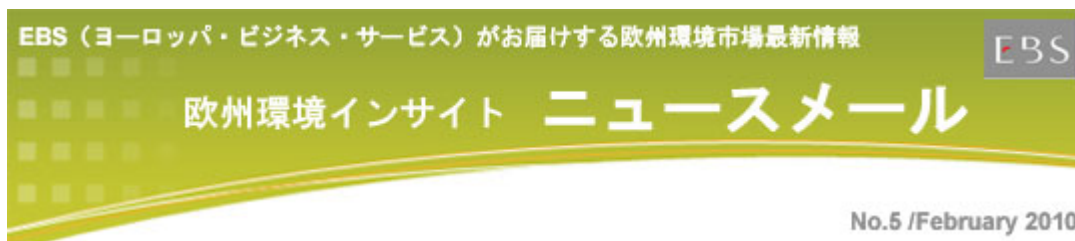


件名:

EBS:欧州環境インサイト ニュースメール 2010年2月号



EBS ニュースメール 5 号

「欧州環境インサイト」ニュースメール 5 号お送り申し上げます。皆様のビジネスにとって、何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- 【太陽熱:フランス】アレバ、米太陽熱発電装置メーカーを買収、同分野に参入
- 【太陽光:ドイツ・フランス】独仏政府、太陽光の買い取り価格を相次ぎ引き下げ
- 【太陽光・風力:英国】家庭向け買取制度の詳細発表、家計収入は平均年 900 ポンド
- 【風力:欧州】初めて 10GW を突破、昨年の欧州風力発電設置容量
- 【低排出車:EU】電気自動車の共通戦略策定へ、5 月の理事会で合意目指す
- 【低排出車:ドイツ】「A クラス」の電気自動車を 10 月に生産開始、ダイムラー
- 【排出削減:ドイツ・アブダビ】エーオンとマスダール、炭素排出削減事業で合併会社
- 【排出権:EU】EU 排出権取引額、今年は 38% 増、調査会社予測
- 【政策:世界】国際再生エネルギー機関、初の活動計画を採択、本格始動へ
- 【政策:EU】再生可能エネルギーの比率は 16.4%、2008 年の発電電力

--- ニュース -----

【太陽熱:フランス】アレバ、米太陽熱発電装置メーカーを買収、同分野に参入

仏原子力大手のアレバは 2 月 8 日、米太陽熱発電装置メーカーのオースラ (Ausra、カリフォルニア州) を買収すると発表した。オースラは新たな再生可能エネルギー源として期待される集中型太陽熱発電 (CSP) 装置の開発と製造を手がける中堅メーカーで社員は約 70 人。アレバは再生可能エネルギーを原子力に次ぐ事業の柱と位置づけており、既に風力、太陽光、バイオエネルギーなどに取り組んでいる。今回の買収で太陽熱に参入し、再生可能エネルギー事業の対象を広げる。買収金額は明らかにしていない。

プレスリリース: www.aveva.com/EN/news-8199/aveva-to-acquire-the-u-s-solar-company-ausra.html

【太陽光:ドイツ・フランス】独仏政府、太陽光の買い取り価格を相次ぎ引き下げ

ドイツ政府は 1 月 20 日、太陽光発電の固定価格買取 (フィード・イン・タリフ) 制度における買取価格を引き下げると発表した。家庭などの屋根に取り付けるタイプでは早ければ 4 月から 15% (6 月からの公算が高い)、地上設置型では 7 月から 15~25% それぞれ引き下げる。新規の設置が対象となる。一方フランス政府も 1 月 13 日、屋根取り付け型の買取価格を 1 キロワット時あたり 55 ユーロセントから 42 セントへ 24% 下げると明らかにした。いずれも、過熱気味も需要を抑えるのが目的。スペインも含め欧州では、太陽光発電に対する補助を徐々に引き下げる方向にある。

【太陽光・風力:英国】家庭向け買取制度の詳細発表、家計収入は平均年 900 ポンド

英政府は 2 月 1 日、4 月にスタートする家庭向け固定価格買取 (フィード・イン・タリフ) 制度の詳細を発表した。制度は出力 5MW 以下の太陽光、風力発電が対象で、電力会社に売却する電力のみならず、自家消費分にも適用される。買取価格は技術や装置により異なるが、出力 2.5kW の太陽光発電の場合、家庭は平均年 900 ポンドの収入になるという。制度が最初に発表された 2009 年 7 月以降に設置された装

置も遡って対象となる。来年4月からは、再生可能エネルギーを使って発生させた熱(太陽熱による暖房など)に対しても同様の制度が導入される。

ニュースリリース：www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/pn10_010/pn10_010.aspx

【風力：欧州】初めて10GWを突破、昨年の欧州風力発電設置容量

欧州(EU27カ国)の風力発電設置容量が2009年に初めて10GWを突破したことが、業界団体である欧州風力エネルギー協会(EWEA)のまとめでわかった。同協会が2月3日に発表した統計によると、昨年
の新規設置容量は10.16GWで、2008年に比べ23%増加した。このうち陸上が9.58GWで同21%増、洋上は0.58GWで同56%と大きく伸びた。設置容量が最も大きかったのはスペインの2.46GWで、これにドイツ(1.92GW)、イタリア(1.11GW)、フランス(1.09GW)が続く。全体の累積設置容量は2009年末で74.77GWに達し、2008年末から16%増えた。同協会によれば、風力発電は電力需要全体の4.8%を供給するという。

ニュースリリース：www.ewea.org/fileadmin/ewea_documents/images/homepage/press_releases/More_wind_power_capacity_installed_last_year_in_the_EU_than_any_other_power_technology.pdf

【低排出車：EU】電気自動車の共通戦略策定へ、5月の理事会で合意目指す

EUは2月9日に開いた非公式の競争力相会合で、電気自動車の開発と普及に関する共通戦略を策定することを決めた。今後欧州委員会が原案を作り、5月の競争力相理事会での合意を目指す。共通戦略には技術開発の支援や充電インフラ規格の標準化などが盛り込まれる見通し。EUでは、次世代の電気自動車の開発で米国や日本に遅れを取っていると懸念が高まっており、戦略の策定で競争力を高める狙い。業界団体の欧州自動車工業会は、電気自動車は2020~25年に新車市場の3~10%のシェアを占めると見込んでいる。

ニュースリリース：www.eu2010.es/en/documentosynoticias/noticias/feb9_sebastiancoche.html

【低排出車：ドイツ】「Aクラス」の電気自動車を10月に生産開始、ダイムラー

自動車大手のダイムラーは1月初め、小型乗用車「Aクラス」の電気自動車の生産を今年10月に開始すると発表した。当面500台を生産し、特定の顧客にレンタルする。リチウム・イオン電池を搭載し、航続距離は約200キロ。同社の電気自動車は、超小型の「スマート」、Aクラスより大きい「Bクラス」の燃料電池車に続いて3モデル目。スマートは現在、合計1,000台の小規模生産を実施しているが、2012年以降、希望する全ての顧客に行きわたる規模の量産を開始する計画。需要の大きい小型クラスで電気自動車を投入して品揃えを拡充し、将来の市場競争に備える。

ニュースリリース：

www.daimler.com/dccom/0-5-633234-1-1264595-1-0-0-0-0-8-0-0-0-0-0-0-0.html

【排出削減：ドイツ・アブダビ】エーオンとマスダール、炭素排出削減事業で合弁会社

ドイツのエネルギー大手エーオンと、アブダビの再生可能エネルギーに関する国営企業であるマスダールは1月19日、炭素排出削減事業を手がける合弁企業を設立することで合意したと発表した。社名はエーオン・マスダール・インテグレートド・カーボン(EMIC)で、アブダビに本社を置く。2010年第1四半期中に設立される見通し。出資比率は明らかにしていない。新会社は中東、アフリカ、アジア地域で、高効率ガスタービンの導入、ガスパイプラインの漏れ予防などのプロジェクトを実施し、排出削減分を国連のクリーン開発メカニズムなどの制度下で売却する。

プレスリリース：

www.eon.com/en/presse/news-detail.jsp;jsessionid=0A637FA387E337FCCC99EBA1625DC325.1?id=9561&back=%2fen%2findex.jsp

【排出権：EU】EU排出権取引額、今年は38%増、調査会社予測

ノルウェーの排出権市場調査会社であるポイント・カーボンが1月29日、2010年のEU排出権取引制度(EU-ETS)における取引額は950億ユーロとなり、前年比38%増加するとの見通しを発表した。取引量は54億トンでほぼ横ばいだが、単価が上昇するのが主因。予測値から逆算すると2010年の平均単価は1トン当たり17.6ユーロとなり、現在の13ユーロから上昇する。国連のクリーン開発メカニズムなどを含めた世界の取引量は同33%増の1,210億ユーロに拡大する見通しで、依然、EU-ETSが世界市場の8割近くを占める。

ニュースリリース：www.pointcarbon.com/aboutus/pressroom/pressreleases/1.1393070

【政策:世界】国際再生エネルギー機関、初の活動計画を採択、本格始動へ

再生可能エネルギーに関する初の国際機関である国際再生可能エネルギー機関(IRENA)が1月中旬にアラブ首長国連邦のアブダビで第3回準備委員会を開いた。加盟120カ国から約500人の代表が参加、初年度である2010年の活動計画と予算、義務規則を採択し、本格的に活動を開始した。今年の予算は1,370万ドルで、今後職員の採用を開始し、世界の再生可能エネルギー資源の地図作りや各国政策のデータベース構築に着手する。IRENAは2009年1月に発足し、加盟国・地域は2010年1月時点で142カ国。本部をドバイ、イノベーション技術センターをドイツのボンに置く。

ニュースリリース:www.irena.org/downloads/PrepCom/3rdPrepCom/Press_Release_3rd_Prep_Comm.pdf

【政策:EU】再生可能エネルギーの比率は16.4%、2008年の発電電力

EUの総発電電力のうち再生可能エネルギー発電が占める比率は2008年に16.4%だったことが、EU関連機関のユーロバザーが2月初めに発表した資料でわかった。再生可能エネルギーによる発電電力量は558テラワット時で、前年に比べ7.9%増加した。このうち水力が全体の59.5%を占め依然最大、次いで風力(21.1%)、バイオマス(17.1%)が続く。太陽エネルギーは1.3%と構成比は低いものの、前年の0.7%から大きく上昇した。EUは2010年に電力需要の21%を再生可能エネルギーで賄う目標を掲げているが、現状では目標達成は厳しい状況だ。

ウェブサイト:www.eurobserv-er.org/default.asp

◆◆「EBS産業レポート」発売中◆◆-----

◎1「これだけは知っておきたい EU環境規制 2009-10年」
94頁 300ポンド(税別)/360ユーロ(税別)/49,350円(税込)

◎2「EUで注目の環境ビジネス 2009-10年」
88頁 300ポンド(税別)/360ユーロ(税別)/49,350円(税込)

◎3「欧州自動車産業の最新動向 2009-10年—始動する電気自動車」
128頁 350ポンド(税別)/420ユーロ(税別)/58,800円(税込)

詳細目次、サンプルページ、お申込みはこちら⇒<http://www.ebsukltd.com/report/index.htm>

>>複数購入、追加購入の場合は約20%の特別割引!!

1と2の2冊(78,960円/500ポンド/580ユーロ)
1または2と3の2冊(86,520円/520ポンド/620ユーロ)
1、2、3の3冊(126,000円/750ポンド/900ユーロ)

◆◆当ニュースメール配信サービス希望者募集中!◆◆-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページからご登録いただけます。
 - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承下さい。
 - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◆◆当サービスのご利用に当たって◆◆-----

★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。

<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

★ニュースメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。

news@ebsukltd.com

発信元◆EBS(UK)Ltd.

1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM

ウェブ: <http://www.ebsukltd.com/> メール: news@ebsukltd.com

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2009 掲載記事の無断転載を禁じます。
